

高校日本史プリント (過去問類似)

中世 No.4

名前

得点

/10

問1 室町幕府の統制から離れて独自の布教を行った禅宗諸派（林下）のうち、関山慧玄を開山とし、のちに大徳寺とともに臨済宗の林下の代表的存在となった、京都にある寺院として、最も適当なものを答えよ。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 天龍寺 2. 妙心寺 3. 建仁寺 4. 相国寺

問2 室町幕府の地方支配体制が揺らぐなか、戦国大名の中には、南北朝時代以来の伝統的な支配権を背景に、そのまま領国を掌握して戦国大名へと脱皮・成長を遂げた家系が存在した。このような出自を持ち、駿河国を本拠地として領国支配を広げた代表的な一族を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 大友氏 2. 今川氏 3. 島津氏 4. 武田氏

問3 1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が漂着し、日本に初めて鉄砲が伝えられた、領主の時堯がこれを買取ったことで知られる九州南方の島はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 口之津 2. 鹿児島 3. 島原 4. 種子島

問4 室町時代から戦国時代にかけて、浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市が各地に現れた。富田林などに代表される、このような都市の形態を何と呼ぶか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 城下町 2. 宿場町 3. 寺内町 4. 門前町

問5 日蓮宗の僧である日親は、幕府の政治を批判する『立正治国論』を著して時の最高権力者に直訴したが、激怒したその人物によって投獄され、熱い鍋を頭から被せられるなどの過酷な拷問を受けた。この日親を弾圧した、後に守護大名に暗殺されることとなる室町幕府の第6代将軍は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 足利義政 2. 足利義昭 3. 足利義教 4. 足利義満

問6 室町幕府の3代将軍足利義満は、将軍権力を強化するために有力守護の勢力削減を図った。その一環として、周防など数力国の守護を兼ね、朝鮮や明との独自交易によって強大な経済力を有していた大内義弘が、1399年に堺で挙兵したものの幕府軍に滅ぼされた。この一連の出来事を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 嘉吉の乱 2. 応永の乱 3. 明徳の乱 4. 応仁の乱

問7 鎌倉時代、社会の混乱や蒙古襲来などの危機に直面し、前執権の北条時頼に政策提言の書を提出して他宗を厳しく批判するとともに、法華経の教えを信じて「南無妙法蓮華経」の文句を唱えることで国家と人々が救われると説いた、法華宗の開祖は誰か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 日蓮 2. 親鸞 3. 法然 4. 道元

問8 奥州藤原氏の祖が本拠地とした奥羽地方の要衝で、特産の金や馬、北方交易による富を背景に、中尊寺などの大伽藍が築かれ、京都の文化が積極的に移入されて東日本随一の都市として繁栄した場所はどこか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 鎌倉 2. 福原 3. 博多 4. 平泉

問9 室町時代に、京都などの都市において、酒屋とともに高利貸を営んで富を蓄え、幕府の重要な財源として課税対象となった、質物を保管する強固な倉庫を備えた金融業者を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 借上 2. 問屋 3. 酒屋 4. 土倉

問10 戦国大名である織田信長は、尾張から勢力を広げて天下統一へと乗り出した。信長が駿河の今川氏を破ったのち、足利義昭を奉じて京都へ入った。その後、三河国において徳川家康と連合し、甲斐の武田氏の軍勢を多数の鉄砲を用いて破った。この、武田勝頼の軍を破った戦いの名称を答えよ。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 姉川の戦い 2. 長篠の戦い 3. 山崎の戦い 4. 厳島の戦い

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 2 妙心寺	臨済宗妙心寺派の拠点である妙心寺は、大徳寺などとともに「林下」と呼ばれる禅宗諸派の代表的寺院である。幕府の保護と統制を受けた五山・十刹の制外にあり、地方武士や庶民への布教を進めて勢力を拡大した。
問2	答え 2 今川氏	戦国大名には様々な出自の者が存在する。駿河の守護であった家系からそのまま戦国大名へと成長したのが今川氏であり、同様の例として甲斐の武田氏が挙げられる。これに対し、北条早雲（伊勢宗瑞）のように素浪人から台頭した者や、毛利元就のように在地の領主（国人）から成長した者もあり、出自による分類は戦国大名の性格を理解する上で重要である。
問3	答え 4 種子島	1543年、ポルトガル人を乗せた中国のジャンク船が九州南方の種子島に漂着した。この際、領主の種子島時堯がポルトガル人から火縄銃を購入したことで、日本に鉄砲とその製造技術が伝来した。この出来事は、のちの戦国時代の戦術や兵農分離、城郭の構造などに決定的な影響を与える契機となった。
問4	答え 3 寺内町	浄土真宗（一向宗）の寺院や道場を中心に、周囲に濠や土塁を巡らせて形成された自衛的・自治的な都市は寺内町と呼ばれる。河内国の富田林や摂津国の石山、大和国の今井などがその代表例である。これに対し、伊勢湾に臨む桑名などは港町として発達した。
問5	答え 3 足利義教	日蓮宗の僧である日親は、他宗を排して日蓮の教えを信奉すべきであると主張し、第6代将軍の足利義教に対して『立正治国論』を献上して諫言した。しかし、強権政治を進めていた義教の怒りを買って、投獄されて過酷な拷問を受けた。この将軍は、後に嘉吉の乱で赤松満祐に暗殺された。
問6	答え 2 応永の乱	足利義満は将軍権力の確立を目指し、土岐氏、山名氏などの有力守護を次々と挑発して没落させた。1399年には、西国で強大な勢力を誇り、日朝・日明貿易で富を蓄えていた大内義弘を堺で滅ぼした。これにより義満による守護抑圧策は一応の完成を見た。
問7	答え 1 日蓮	鎌倉新仏教の開祖の一人であるこの人物は、前執権の北条時頼に『立正安国論』を提出し、幕府の政策や他宗を批判した。蒙古襲来などの国難を予言し、南無妙法蓮華経の題目を唱えることで救済されると説いた。
問8	答え 4 平泉	藤原清衡は、北上川沿いの交通の要衝である平泉に居館を構えた。平泉は、奥州特産の金や馬、さらに日本海や北方との交易による経済力を背景に、中尊寺や毛越寺などの壮麗な寺院が建立され、独自の浄土教文化が栄えた。
問9	答え 4 土倉	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、高利貸を営む金融業者が台頭した。質物を保管する倉庫を持っていたことからこの名で呼ばれ、酒屋とともに幕府の重要な財源として課税対象（土倉役・酒屋役）となった。
問10	答え 2 長篠の戦い	織田信長は1560年の桶狭間の戦いで今川義元を破り、1568年には足利義昭を擁して上洛を果たした。その後、1575年に三河国の長篠城をめぐる、徳川家康とともに武田勝頼の軍勢と対峙した。この戦いにおいて、信長は鉄砲隊を組織的に用いて武田の騎馬隊を破り、天下人としての地位を固めていった。